

【過去のモモンガクラブ 一覧】

年度	実施日	場所	内容	参加人数
平成 20 (2008)	5. 25	博物館	オリエンテーション、巣箱作り	11
	6. 15	面河溪、博物館	モモンガの棲む森の自然観察、巣箱作り	7
	7. 29	面河溪、博物館	昆虫採集法の解説と実習、巣箱作り	11
	8. 20	面河溪、博物館	昆虫標本作製法の解説と実習、巣箱作り	11
	9. 27	面河溪	巣箱の設置	8
	10. 12	面河溪	巣箱の設置、見回り	11
	11. 16	面河溪	巣箱の見回り	7
	12. 14	博物館	木の実を使ったクリスマスリース作り	14
平成 21 (2009)	4. 19	面河溪	巣箱の見回り	11
	4. 29	久万高原ふるさと旅行村	久万高原の自然を知る活動「春の野草を食べる会」	23
	5. 24	石鎚山土小屋	久万高原の自然を知る活動「昆虫と植物化石の観察会」	15
	6. 28	面河溪	巣箱の見回り	14
	7. 29	久万高原ふるさと旅行村	久万高原の自然を知る活動「夏の夜の昆虫観察会」	17
	8. 26	博物館	久万高原の自然を知る活動 「キイロスズメバチを食べてみよう！」	12
	9. 27	久万高原ふるさと旅行村	トンボの観察と採集、巣箱の設置	12
	10. 25	面河溪	巣箱の見回り	11
	11. 20	面河溪	夜のモモンガ観察会	7
	12. 13	町立久万美術館	木の実を使ったクリスマスリース作り	11
	2. 28	面河溪	巣箱の見回り	14
平成 22 (2010)	4. 18	博物館、面河溪	オリエンテーション、巣箱の見回り	15
	5. 5	町内各地	久万高原の自然を知る活動「身近なタンポポを調べよう」	21
	5. 23	博物館、面河溪	巣箱の設置、見回り	12
	6. 12	面河溪	久万高原の自然を知る活動「面河川の水生昆虫観察と採集」	7
	7. 30	久万高原ふるさと旅行村	久万高原の自然を知る活動「夏の夜の昆虫観察会」	15
	9. 26	久万高原ふるさと旅行村	巣箱の見回り、サテライト巣箱の配布と設置	9
	10. 11	面河溪、赤蔵ヶ池	巣箱の設置、見回り	6
	11. 27	博物館、面河溪	夜のモモンガ観察会（ライブビデオカメラによる調査）	13
	12. 11	NIKONIKO 館	木の実を使ったクリスマスリース作り	4
平成 23 (2011)	4. 16	博物館、面河溪	オリエンテーション、モモンガ調査用巣箱の見回り	7
	5. 5	博物館、面河溪	河原の石図鑑をつくろう	20
	7. 24	久万高原ふるさと旅行村	夜の生きもの観察会	18
	9. 4	博物館	ニホンミツバチの採蜜観察会	17

	10. 22	面河少年自然の家	面河川のアマゴを知ろう	15
	11. 27	博物館	カメムシの話	7
平成 24 (2012)	4. 22	博物館	イタドリを知って食べよう	16
	7. 28	笛ヶ滝公園	夜の生きもの観察会	9
	9. 1	博物館	ハチを知る	9
	11. 24	畑野川千本高原	水晶採集会	14
	12. 15	町立久万美術館	クリスマスリース作りを作ろう	16
	平成 25 (2013)	4. 29	笛ヶ滝公園	春の野草を食べる会
5. 18		久万高原ふるさと 旅行村	あなたのとりのホニュウ類	18
7. 27		笛ヶ滝公園	夜の生きもの観察会	22
9. 28		町内菅生	久万高原町の外来生物観察会	12
10. 20		博物館	スズメバチ観察会	17
11. 24		町内畑野川千本高原	水晶採集会	12
12. 15		町立久万美術館	クリスマスリース作りを作ろう	15
平成 26 (2014)	4. 27	博物館	イタドリを知って食べる	27
	5. 11	面河少年自然の家	樹木を知ろう	19
	5. 23	町内菅生	夜の田んぼの生き物観察会	18
	6. 15	博物館	手羽先骨格標本を作ろう①	15
	6. 21	博物館	手羽先骨格標本を作ろう②	7
	7. 6	博物館	手羽先骨格標本を作ろう③	8
	7. 31	笛ヶ滝	夜の生きもの観察会	18
	10. 4	町内二名	ウマのからだ・ヒトのからだ	21
	12. 15	町立久万美術館	クリスマスリースを作ろう	12
平成 27 (2015)	4/29	山岳博物館	イタドリとタンポポ	12
	5/31	面河溪	地衣類観察会	12
	6/28	山岳博物館	アマゴと水生昆虫	19
	7/28	笛ヶ滝公園	夜の生き物観察会	15
	9/10	山岳博物館	コウモリ観察会	14
	11/15	畑野川	水晶採集会	12
	12/12	久万美術館	クリスマスリースを作ろう	13
平成 28 (2016)	4/29	山岳博物館	春の野草をもりもり食べよう	22
	5/21	ふるさと旅行村	マダニを調べよう	15
	6/10	上浮穴高校周辺	カエル観察会	14
	7/23	笛ヶ滝公園	夜の生き物観察会	14
	9/11	山岳博物館	スズメバチを知ろう！	7
	10/30	町民館調理室	草木染教室	14
	11/12	畑野川千本高原	高温石英採集会	14
平成 29 (2017)	4/29	山岳博物館	春の野草を食べる会	25
	5/21	美川支所、御三戸	岩石・鉱物採集会 in 御三戸	11
	6/17	菅生の水田、図書館	水路の川魚採集会	18
	7/27	笛ヶ滝公園	夜の生き物観察会	15
	9/30	面河溪	面河溪のコケ観察会	13

	10/14	面河溪	面河溪のキノコ観察会	8
	11/18	菅生高野展望台	高温石英採集会	15
	12/9	町立久万美術館	自然素材を使ったクリスマス飾り作り	22
平成 30 (2018)	4/21	久万公園、町民館	春の野草を食べる会 in 久万公園	19
	5/12	博物館、面河溪	面河溪関門を歩く	17
	6/23	菅生地区の水田	久万高原の田んぼの生き物観察会	14
	7/25	笛ヶ滝公園	夜の生き物観察会	16
	9/26	博物館、面河溪	コウモリ観察会	17
	10/14	ふるさと旅行村	ハエトリグモ観察会	13
	12/1	下畑野川町有林	高温石英採集会	13
	12/15	町立久万美術館	自然素材を使ったクリスマス飾り作り	10
平成 31 (2019)	4/20	久万公園、町民館	春の野草を食べる会 in 久万公園	21
	5/19	博物館、面河溪	面河溪を歩く～色の不思議いろいろ～	17
	6/22	菅生地区の水田	夜の田んぼの生き物観察会	17
	7/28	博物館	磨けば光る！身近な河原の石	9
	10/3	博物館、面河溪	コウモリ観察会	7
	11/16	御三戸	岩石と鉱物の採集・観察会 in 御三戸	24

【過去のチラシ】



河原にはたくさん石が転がっています。
大きさも色も形も、そして季節や場所によって変わっています。
これらは川の流路により、上流や近くの山から運ばれてきたもの、
石の名前やでき方を知る心、山中地質がどうやってできたのか、が分かります。
いつかは、ぜひ観察しているだけじゃなく、その秘密をさぐってみましょう。

日 時：5月8日(日) 10:00~12:00
集合場所：面河山岳博物館
服 装：靴、長ズボン、長袖シャツ
料 費：草子、ばらタオル、保険料 100 円、印刷費 210 円
※印刷代は、母体入会費代金(個人 500 円、家族 1000 円)
内 容：石種山と久万高原の石についてのお話し、
河原の石観察
博物館制作の「プラスチックケースなどに小石と石れをはりつけます。」
講 義 員：面河山岳博物館 担当/大野真由
TEL:0892-68-2130 FAX:0892-68-2136
携帯電話:090-4783-2468 (大野真由)
メール:yano-china@ku.makosen.jp

※ 申込締め 5 月 1 日までにご連絡ください。
※ お友達などで参加したい方がいらっしゃれば、お知らせください。
※ 参加は小学生以上から、小学生は保護者同伴でお越しください。
※ 雨天中止です。中止の場合は、当日の朝 8 時までに電話します。

第 3 回モモンガクラブ 「モモンガ用巣箱作りと河原の昆虫調査」

無段階気なく寝ている石だらけ河原。ここにもいろいろな昆虫たちが暮らしています。観察地としてきわぬ河原溪の河原には、どんな昆虫が暮らしているのでしょうか？午前中は面河溪でゴミムシやトンボなど、河原にすむ昆虫を観察します。
午後からはみなさんの協力で設置してもらったライト巣箱を作りまします。1 家族で 2 台作成させるのが目標です！



○日 時：5月23日(日) 10:00~15:00
○集合場所：面河山岳博物館
○服 装：靴、長ズボン
○持 参 品：屋敷、タオル、おやつ、保険料 100 円
軍手、ノコギリ

※ 参加の準備の都合がありますので、欠席の場合は、前日までにご連絡ください。
博物館の電話 0892-68-2130
大野の携帯 090-4783-2468
大野のアドレス yano-china@ku.makosen.jp
※ 雨天の場合は中止です(少雨決行)、当日の朝 8 時までに電話します。



平成 23 年度 第 5 回モモンガクラブ 「ニホンミツバチの採蜜観察会」



2009 年 8 月、博物館アトラスに設置していたミツバチ観察箱にニホンミツバチが入りました。昨年は蜜の出来具合が悪かったため、ミツバチが繁殖して来るよう、蜂蜜を採りました。そして、この夏、ついに密タンに！密の蜂蜜採り名人の指導で採蜜の様子を観察し、実際に採蜜してみたいです。

- 日 時：9 月 4 日(日) 10:30～12:00(開場10分前)時間は多少変更します。
- 内 容：蜂蜜採蜜の様子を観察(ニホンミツバチの巣の入り口を覗いたり、ミツバチの採蜜の様子を観察)採蜜した蜂蜜の試食
- 集合場所：富河山自然博物館
- 定 員：20 名ぐらい(定員超過の場合はキャンセルです。)
- 持 参 品：アトラス、必要なら採蜜用のアトラス(開けられるタイプ)、食べのこや蜂蜜をつけて食べたいもの、蜂蜜の持ち帰り用ビン
- 送 迎 先：富河山自然博物館(相馬/矢野)
TEL/0992-58-2130 FAX/0992-58-2136 携帯番号/090-4783-2468(矢野個人) メール/yano-shiki@shonaku.com.jp

※雨天の場合は中止です。中止の決定は当日の朝 8 時 30 分までにおこない、電話連絡いたします。
※欠席の場合は 9 月 1 日までに矢野までご連絡ください。

平成 27 年度 第 1 回モモンガクラブ 「イタドリとタンポポ」

今年度最初のクラブ活動についてご案内いたします。テーマは「イタドリ」と「タンポポ」。久石高原ではイタドリを食用などにも利用する食文化が残っています。餅やジャウ餅を炊く際、独特の風味を醸成するイタドリ。畑に広がるタンポポの観察はこれらも残していく食文化の一つでしょう。一方、タンポポは身近な野草ながらその利用法はあまり知られていません。タンポポは食べられるし薬にもなります。

今回は、イタドリとタンポポを観察して、採集して、保存法を知って、調理して、食べます。また、タンポポの分布をみんなで調べる「西日本タンポポ調査」の参加方法も紹介します。ぜひ、自然を感じ、自然を利用する野草を手に入れてください。久石高原の山菜も食べます。



- 日 時：8 月 29 日(日) 10:00～13:00(集合)
- 集合場所：富河山自然博物館
- 定 員：20 名(定員超過の場合はキャンセルです。)
- 持 参 品：イタドリ(採集したイタドリはいい、作る人数分)、タオル、お箸
お弁当(イタドリ採集など山菜料理を準備します。それをお弁当のみで食べて頂くように)又は定食三食(中食入館料の代金)個人 1500 円、定食 2000 円、海鮮料・材料費 100 円/人
- 内 容：○イタドリとタンポポの観察
○博物館周辺でイタドリとタンポポの観察と採集、西日本タンポポ調査について
○保存法・調理法の調査、観察したものを食べる。(他の山菜も天ぷらにして食べます。)
- 送 迎 先：富河山自然博物館 相馬/矢野真志
TEL/0992-58-2130 FAX/0992-58-2136
携帯番号/090-4783-2468(矢野個人) メール/yano-shiki@gmail.com

※今回は定員・年齢制限がありません。ご家族で参加しても大丈夫です。
参加費を 8 月 28 日(日)までにお支払いください。
※雨天決行です！

平成 27 年度 第 2 回モモンガクラブ 「地衣類観察会」

公園のサクラやケヤキの木に、うす緑色のチリ紙をくしゃくしゃとしたようなものが張り付いているのを見たことありませんか？それが地衣類です！
一見、乾いたコケのようにも見えますが、ぜんぜん違う生き物。地衣類は菌類(キノコやカビ)の仲間です。しかし、その体のつくりや暮らし方はキノコとは全く違って、菌類と似る生き物と共生で生活しています。菌は菌にすむ場所と生きていくのに必要な水をあげるのわりに、菌が合成で作った栄養分をもらって生活しています。

今回は、この不思議な生き物である地衣類を観察しながら産地を探します。地衣類は木の幹にも石の上にもコンクリートの壁にも、どこにでもいます。ですので、学校や道路のすみっこや駐車場や公園など身近な場所、どこでも観察することが出来ます。見分け方や採集方法を、最近の自然に目を向けてみましょう。



- 日 時：8 月 31 日(日) 10:00～12:00(集合)
- 場 所：富河山自然博物館 宇野山(8/29開通)
- 集 合 場 所：富河山自然博物館(博物館正面ではなく、奥の奥(駐車場) 富河河堤)
- 定 員：20 名(先着順です) 参加費は小学 3 年生以上、小学生は保護者同伴
- 参加費：100 円(保険料)
- 定 員：20 名(定員超過の場合はキャンセルです。)
- 内 容：○富河山自然博物館から徒歩石川キャンプ場まで片道 500m(約 10 分)の産地を探します。
○カメラを持っていくなら地衣類を観察します。
○富河河堤は地衣類の産地がとて豊富です。絶滅危惧種も多数確認されています。
- 送 迎 先：富河山自然博物館 相馬/矢野
TEL/0992-58-2130 FAX/0992-58-2136
携帯番号/090-4783-2468(矢野個人) メール/onohaku@gmail.com

※雨天中止、中止の場合は朝 7 時半までに電話もしくはメールでお知らせください。

平成 27 年度 第 3 回モモンガクラブ 「アマゴと水生昆虫」

サケ科の魚類であるアマゴは、マスやヤマメ、アメゴ、アメノウオなど、地域によっていろいろな名前が呼ばれています。これはアマゴが人間に身近な存在である証拠。実際、久石高原町ではアマゴは食べられているのです。

今回の講座では、アマゴのくらしの仕組みや環境による体の観察にあわせて、川魚がエサにする水生昆虫の観察もおこないます。



- 日 時：8 月 28 日(日) 10:00～12:00(集合)
- 場 所：富河山自然博物館
- 対 象：小学生以上 30 小学生は保護者同伴
- 参加費：400 円(保険料、材料費)
- 定 員：川に入る格好(朝長、柱、ウォーターシューズなど) 空サンダルは不可、帽子、タオル
- 持 参 品：帽子、カッター包丁(研削機、大まかない方がよい)、飲み物
- 内 容：アマゴについての解説
博物館の富河川でアマゴの網になる水虫見直しなどの観察
アマゴの解剖、内臓や骨の内部の観察
- 送 迎 先：富河山自然博物館 相馬/矢野
TEL/0992-58-2130 FAX/0992-58-2136
携帯番号/090-4783-2468(矢野個人) メール/onohaku@gmail.com

※男女を 8 月 24 日(水)までにお知らせください。
※雨天中止、中止の場合は朝 7 時半までに電話もしくはメールでお知らせください。

「夜の生き物観察会」



夜の生き物を採って、久万の畑から苗ヶ尾公園を歩きまわります。夜になると昼間では見ることができない様々な生き物たちの姿に出会えます。高く虫や鳴かりにやってくる虫、セミやバッタの羽化などなど。カエルやフクロウの声も聞けるかも。

- 日 時：7月22日(火) 18:30～21:30
- 内 容：夜の明かりに集まる虫、鳴く虫、セミやバッタの羽化などの観察
- 集合場所：産業文化会館2階ホール
- 行 程：産文→苗ヶ尾→野尻→産文（けっこう歩きです）
- 対 象：小学生以上
- 参 加 費：100円（保険料）
- 履 装：長靴、長ズボン（短パン、サンダルはダメ！）
- 持 参 品：タオル、虫よけ、懐中電灯、飲み物
- 申し込み：出発を7月24日までに必ずご連絡ください。
- 連絡先：富河山岳博物館 担当/矢野真志
TEL/0892-58-2130 FAX/0892-58-2138
携帯電話/090-4780-2466（矢野個人）
メール/omohaku@omohaku.jp

※雨天の場合は中止です。中止の決定は当日の正午までにおこない、電話連絡いたします。

「コウモリ観察会」



人工の光源もとむモロコフコウモリ

捕獲後、計測中のフジホオビコウモリ

コウモリは夜の真っ暗な空や森のなかを自由に飛び回っていますが、その姿を観察することは簡単ではありません。今回はコウモリがどんな動物かを知るだけでなく、博物館が専門家と行っているコウモリ調査の一部に参加することで、生態やその調べ方、変わった捕まえ方を学びましょう。今回はコウモリの宝庫です。誰でもここでしか見つかっていないような珍しい種類がまわっています。この夜、もしのいたら、大発見が待っているかもしれません！

- 日 時：8月10日(水) 18:30～20:00
- 内 容：コウモリってどんな生き物？（観察などをつかった講話）
コウモリの調査方法について（夜に飛んでいるので見つけるのが大変！）
コウモリの声の観察（コウモリが出す音波を機械で読み取ります）
コウモリ調査の見学（経路、体重・体長の計測などプロの作業を観察）
- 講 師：海田明希（哺乳類調査事務所・ネイチャー企業研究員）
- 集合場所：富河山岳博物館
- 対 象：小学生以上（保護者同伴）
- 参 加 費：100円（保険料）
- 履 装：運動靴、長ズボン、上着（気温が下がるかもしれないので）
- 持 参 品：タオル、懐中電灯、飲み物
- 申し込み：出発を8月13日までに必ずご連絡ください。
- 連絡先：富河山岳博物館 担当/矢野真志
TEL/0892-58-2130 FAX/0892-58-2138 携帯電話/090-4780-2466

※雨天の場合は中止です。中止の決定は当日の正午までにおこない、電話等で連絡いたします。

「春の野草をもりもり食べる会」

今年度最初のクラブ活動についてご案内いたします。テーマは「山菜」。野草をもりもり食べます。

春の食べられる野草を観察して、身近な山菜であるイタドリ、山椒と保存処理を体験します。また、イタドリやタンポポ、コゴメ、タラの芽などを使ったおいしい山菜天婦羅を作ります！

久万高原ではイタドリを薬物などにして利用する歴史文化が根付いています。酸味やシュウ酸を抜く保存技術、採集の注意点や獲り方など、地域に伝わる生地の知識はこれから勉強していくべき文化の一つでしょう。自然から学ぶだけでなく、自然を利用する技術を手に入れてください。



イタドリ

カリタケ(コゴメ)

タラの芽

- 日 時：4月29日(金)10:00～13:00
- 集合場所：富河山岳博物館
- 履 装：長靴、運動靴（履き慣れた靴）、長ズボン、ジャンパー（濡れていいやつはたぶん無い）
- 持 参 品：0.5リットルのナイフ（厚み5mmのカッターでもよい、作る人数分）、タオル、お茶
女性参加者3歳未満入場料の代金（個人1500円、家族2500円）
保険料 材料費が2900円以内（参加費が安いとまだ足りなくて）
- 内 容：①クラブメンバーの紹介
②博物館周辺の野草観察、イタドリなどの採集
③保存法、調理法の実験、料理したものの試食（4人）
- 連絡先：富河山岳博物館 担当/矢野真志
TEL/0892-58-2130 FAX/0892-58-2138
携帯電話/090-4780-2466（矢野個人） メール/omohaku@gmail.com

※今回は定員・年齢制限がありません。ご家族で参加したい思いもありません。
※出発を4月29日(月)までに必ずご連絡ください。
※雨天旅行です！

平成 28 年度 第 2 回モモンガクラブ 「マダニを調べよう！」

マダニとは肉眼でもハッキリと姿を確認できる大型のダニです。犬や猫などのペット、イノシシやタヌキなどの野生動物の体にかみついて吸血する生き物として知られています。

久万高原町のような山間部では、マダニはけっこう身近にいる生き物です。しかし、多くの方がその存在に気づいていません。犬だけでなく人間にもかみつくとことがあるので、どんな所にすんでいて、どうやってら身を守るのかを知ることは、久万高原町民にとってはとても重要なことです。

今回の活動ではふるさと旅行村を会場に、とても簡単な方法でマダニ探し（調査）をおこないます。マダニがどんな生き物かを知って、これからはもともと自然の中に出ている生き物しょう！



- 日 時：5月21日(土)10:00～12:00
- 集合場所：久万高原ふるさと旅行村
- 履 装：長靴、長ズボン、ジャンパー（半袖は絶対ダメ！）
※当日はゴム手袋で作業しますので、マダニをかまれることはありません。
- 持 参 品：保険料100円、虫除け（準備できる方のみ、博物館でも用意します。）
- 内 容：①マダニってどんな生き物か？マダニ標本の観察
②マダニ採集（ふるさと旅行村にはどんな種類がいる？）
③マダニ標本づくり（アルコールの花露水にします）
- 連絡先：富河山岳博物館 担当/矢野真志
TEL/0892-58-2130 FAX/0892-58-2138
携帯電話/090-4780-2466（矢野個人） メール/omohaku@gmail.com

※今回は小学3年生以上が対象です。
※出発を5月16日(月)までに必ずご連絡ください。
※雨天中止です！中止の場合は当日朝8時までに電話・メールします。

平成 28 年度 富河山岳博物館 生物多様性保全推進事業
第 3 回モモンガクラブ
「夜の田んぼのカエル観察会」

田植えシーズンが終わわり、みなさんの周りでは産卵カエルの大合唱が聞こえてくることでしょう。久万高原の水田にはアマガエルやトノサマガエル、ツツガエル、シレーブアオガエルなどがすんでいます。彼らの夜の姿、鳴いている様子をじっくり観察する機会はあまりないのでは？
今日のモモンガではカエル観察に最適な夜に、田んぼの隅り歩きながら、じっくり「カエルの世界」をのぞいてみましょう！



- 【詳しい内容】
- 田んぼのカエルを足分けする、
 - 鳴き声で聞き分けする、
 - 田んぼに集まる昆虫（カエルのエサ）観察
 - カエルのいる場所、いない場所

◎日 時：6月10日(金) 19:00～20:40
※タイムスケジュール 19:00～19:10 集合説明、講師紹介、注意事項
19:10～20:20 水田周辺を歩きながら生き物観察
20:20～20:40 観察できた生き物の振り返りなど

◎場 所：久万高原町上野尻 上野尻高等学校南側の水田
（観察会は久万小学校前の駐車場）

◎講 師：岡山健仁(山岳博物館学芸員)

◎参加費：無料

◎持参品：懐中電灯(必ず一人に一つずつ)、長靴、長袖の服

◎参加方法：下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。

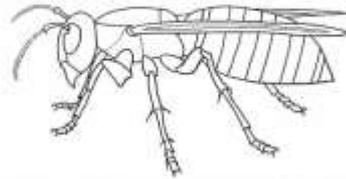
富河山岳博物館(担当/上野)
電話：0892-58-2130 FAX:0892-58-2136
Mail:omohaku@gmail.com

※対象は小学生以上(保護者同伴)です。

※申し込みの締め切りは6月5日(土)です。

※雨天中止です。中止の場合は当日のお昼までに連絡します。

平成 28 年度 第 5 回モモンガクラブ
「スズメバチを知ろう」



久万高原町民にとって最近危険生物であるスズメバチのすべてを知る講座です。

刺されると危険ですが、実は他のさまざまな昆虫をエサにする強力な捕食者であり、生態系の中では重要な位置を占めています。どんな暮らしをしているのか？巣をどこに作るのか？巣の中身はどうなっているのか？食べたらうまいのか？

スズメバチから見えてくる山岳の自然とそれを利用する文化について学びましょう！

◎日 時：9月11日(日) 10:00～12:00

◎内 容：★スズメバチの体のつくり(標本を分析します。)

★スズメバチの見分け方

★キイロスズメバチのくらし(実際の巣を観察)

★キイロスズメバチの巣の解体(本物の巣を通して、中身を観察)

★幼虫を食べてみよう！(久万高原に残る昆虫食文化を知る)

※結晶が手に入った場合のみ、多分準備できると思っています。

◎場 所：富河山岳博物館

◎参加費：200円(保険料含む)

◎持参品：タオル、飲み物、お返し

◎申し込み **出欠を9月8日までに必ずご連絡ください。**

◎連絡先：富河山岳博物館 担当/矢野真志

TEL:0892-58-2130 FAX:0892-58-2136

携帯電話/090-4783-2468(矢野個人)

メール/yano_mh@omohaku.jp

平成 28 年度 第 6 回モモンガクラブ
「草木染教室」

身近な植物を使って、タオルハンカチを染めてみましょう。



今回利用する植物は「ビワ」。枝と葉を細かくきざんで煮出してできた汁で布に色を染めます。その際、色素と繊維を結びつける役目をするのが「媒染剤」。含まれる金属の種類によって染まる色が違ってきます。

さあ、どんな色になるのか？あなただけのオリジナルハンカチを作ります。お楽しみに！



編ゴムを使って、模様をつけます。

◎日 時：10月30日(日) 10:00～12:00
◎場 所：久万高原長閑館(久万高原自然文化会館の横)

◎参加費：600円(保険料、材料費)

◎定員：27名 ※先着順で受け入れます。

◎講師：染織研究会(NPO 法人群馬県自然学校スタッフ)

◎内 容：○タオルハンカチ(1人2枚)にビワの葉を使って染色します。

○身近な植物で染色ができること、そして草木染の方法を学びます。

○染めたタオルハンカチはあなただけのオリジナル！お持ち帰りください。

◎連絡先：富河山岳博物館 担当/矢野真志

TEL:0892-58-2130 FAX:0892-58-2136

携帯電話/090-4783-2468(矢野個人) メール/omohaku@gmail.com

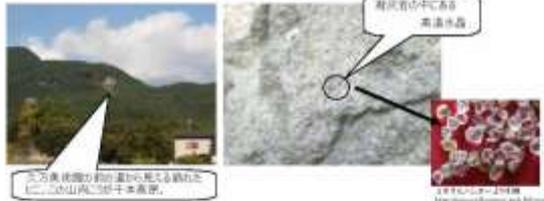
※今回は小学1年生以上が対象です。

※出欠を10月23日(日)までに必ずご連絡ください。

平成 28 年度 第 7 回モモンガクラブ
「水晶採集会～畑野川の高温水晶～」

今から約1,500万年前の新生代中新世と呼ばれる時代に、現在の石川山にあたる地域では活発な火山活動が繰り返されていました。そのため久万高原町内には溶岩が溜まってできた地洞や岩窟がたくさん見ることが出来ます。そのうち畑野川一帯に見られる火山頂が溜まってできた凝灰岩の中には、「高温水晶」と呼ばれるシリコパシ玉のような形をした小さな水晶がたくさん含まれています。

風化した凝灰岩は土になりますが、水晶は硬いのでそのまま残ります。今回は土や崩れた岩の中からこの「高温水晶」を探してみましょう。



◎日 時：11月19日(土) 10:00～12:00

◎内 容：★久万高原でおこった火山活動(コーラを使った噴火実験で再現)

★谷谷(凝灰岩)の観察

★高温水晶の採集、水晶アクセサリーづくり

◎集合場所：畑野川千本高原の竹森ガーデンさん駐車場

◎参加費：300円(保険料・材料費)

◎持参品：タオル、軍手、ながぐつ(雨のいでちゃんとした防寒着)

◎申し込み **出欠を11月13日(日)までに必ずご連絡ください。**

◎連絡先：富河山岳博物館 担当/矢野真志

TEL:0892-58-2130 FAX:0892-58-2136 携帯電話/090-4783-2468(矢野個人)

※少雨決行、大雨中止。中止の場合は朝8時半ごろまでに電話します。

2015年12月のモモンガクラブ
「クリスマスリースをつくろう！」



- 日 時：12月12日(土) 10:00~12:00
- 内 容：★マツボックリって何?どんぐりって何?
★木の葉などを使ったリース・ガーランド作り
- 場 所：町立久万美術鑑賞室
- 参 加 費：300円(材料代、お茶代) ※参加人数によっては値下げあり
- 対 象：年齢制限なし。どなたでもかまいません。
- 持 参 品：リース持ち帰り用の箱や紙袋
- 申し込み：出欠を12月8日までにご連絡ください。
- 通 絡 先：面河山岳博物館 担当/矢野真志
TEL/0892-58-2130 FAX/0892-58-2138
携帯電話/090-4789-2488 (矢野真志)
メール/yano-masashi@kumakom.jp

平成30年度 面河山岳博物館 第2回モモンガクラブ
面河溪関門を歩く
～ここだけの秘密、お宝だらけの溪谷～

奇岩や鮮烈な川の水、深い森など、面河溪といえばその深谷美が一面の魅力です。しかし、面河溪のおもしろさは景色だけではありません。普通県でもここにしかない「養蚕用でもとても珍しい」といった希少な動植物がたくさん見られます。特に谷底にある関門は湿度が高いことから、珍しいシダやコケなどの生庫です。

今回のモモンガクラブでは、春の道沿え関門をのんびり歩いて、そんな動植物の観察をしてみましょう!



マングロク(養蚕用の希少な動植物)



スズランシダの仲間、夏場美しい緑色(養蚕)



夏の間ですらすら動くニホンアマガサムシ



ハナシロアザミ

- 日 時：5月12日(土) 10~12時
- 集合場所：面河山岳博物館
- 対 象：小学生3年生以上
- 参 加 費：100円(保険料)
- 服 装：運動靴もしくは長ズボン、長ズボン

- 導 引：博物館もしくは矢野まで連絡
- 通 絡 先：面河山岳博物館
担当/矢野真志
TEL/0892-58-2130
FAX/0892-58-2138
Mail/ansfaki@kumakom.jp

少額決済(中止の場合は前8時ごろ電話連絡)

【平成30年度 第6回モモンガクラブ】

ハエトリグモ観察会

久万高原にハエトリグモの専門家がはるばる関東からやってきます！
講師の須黒先生は日本にいるハエトリグモの全種類について採集・撮影することを目指し、2年かけて日本中を回り、その集大成として「ハエトリグモハンドブック」という図鑑を執筆されました。今回はハエトリグモがどんな生き物なのか、その生態や見つけ方なども合わせて教えてもらいましょう。
原の中や家でびよびよん跳ねてくるクモをさがし、たまたま近くで見えてきますよ！お楽しみに！



- 日 時：平成30年10月14日(日) 10:00~12:00
- 場 所：久万高原ふるさと旅行村
- 講 師：須黒 達巳さん (産地産物協賛会教諭、日本蜘蛛学会会員)
- 参加費：200円
- 申 込：面河山岳博物館まで氏名・住所・連絡先をお知らせください。
電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136

【講師略歴】
1989年生。徳島県徳島市出身。
日本蜘蛛学会会員、東京図鑑協会監修委員(会誌)
【著書】
1. 須黒達巳 2016 世にも美しい 蜘蛛 ハエトリグモ、ナツメ社
2. 須黒達巳 2017 ハエトリグモハンドブック、文一総合出版



磨けば光る！身近な河原の石

開催日時 **7月28日(日) 10:00 ~ 12:00**



河原でグッときた石ころを選び、ピカピカになるまでひたすらヤスリで磨きます。石の色や形もさまざま。それぞれの特徴なども学びながら、自分だけの石に仕上げましょう。磨き終わったあとの達成感と喜びは格別です！

みんなにオススメ 黙々と1つの作業に集中できる人

- 【対 象】 小学3年生以上
- 【定 員】 15名
- 【参加費】 500円
- 【集合場所】 博物館
- 【服装、持ち物】 軍手、忘れてもいい服装、座布団
- 【申込】 博物館まで電話、メール、または FAX
面河山岳博物館 担当/山崎
TEL/0892-58-2130 FAX/0892-58-2136
Mail/omohaku@ipstar.ne.jp
- ※中止の場合は8:30までに電話等で連絡

